

よしまい

2024年 初夏号



海桐の花が満開です！

目次

公園の風景

- ・海桐の戦略 1
- ・空飛ぶ宝石 1
- ・おいしそう…でしょ？ . . . 1

展望棟から ② 1

みんなのひろば

- ・「マイプロジェクト」アクション . . . 2

活動紹介

- ・またまた雨の春まつり 3
- ・仲間が増えました！ 3
- ・葦の会総会 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kirara@gmail.com

HP ashinokai.html.xdomain.jp

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



公園の風景



= 海桐の戦略 =



「海桐」この漢字はなんと読むでしょう？

本州以南の海岸に自生する海桐（トベラ）は、4月から6月にかけて白色5弁の筒型の小花を密につける常緑樹です。

公園開設にあたり、園内には潮風に強いトベラの苗2632本が植えられ、この季節には白い花がいたる所で咲き誇っています。花には芳香がありますが、枝や葉に一種の臭気があり、そのため節分にこの枝を扉にはさんで鬼を防ぐ風習もあります。「トビラノキ」と呼ばれて

いたことから「トベラ」となったと言われています。

雌雄異株で雄株の方がたくさん花を付け、開花後の花は黄色に変色します。秋につける実は熟すと3つに裂け、中から赤いねばねばした種子が現れますが、トベラはこの赤い色に惹かれて寄って来る鳥に、その粘着性を活かしてくっつき遠くに運んでもらうのです。



ツグミの頭に2個！

= 空飛ぶ宝石 =

公園にはたまにカワセミが飛んでいます。展望棟の近くの水路で時々見かけますが、飛ぶたびに青い背中がキラキラと輝き、本当に青い宝石みたいです。写真に収めようとするのですがすばしっこいのでいつもシャッターチャンス逃してしまいます。

カワセミは全長約17cmですが、嘴は体のわりに長くて3.3~4.3cmあります。魚捕りの名人で、水辺の石や小枝の上からダイブしたり、時には空中でホバリングしながら水の中に飛び込み獲物をゲットすることもあります。



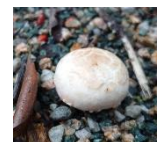
淡水池ではメスのカワセミも見ました。メスは下嘴が赤い口紅を塗ったようになっているので見分けるのは簡単ですね！皆さんもカワセミに会えるかもしれない公園に遊びに来て下さい。

はっきりと翡翠色にとびにけり

中村 草田男

= おいしそう…でしょ？ =

公園を散歩中、トンボ池の辺りでお饅頭みたいなキノコを見つけました。コロんと丸い小さい方は傘の直径が2cm、大きい方は15cmくらい。「ナガエノスギタケ」と思われます（違っていたら教えてくださいね）。



ナガエノスギタケの地下に伸びている長い根のような「偽根」をたどれば、モグラ

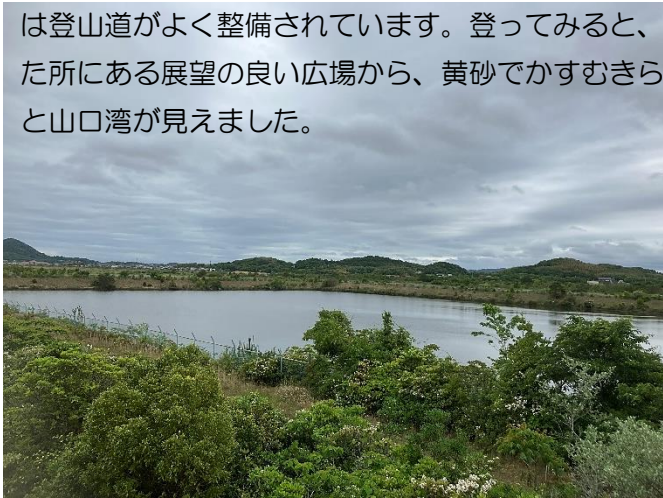


の巣の排泄所につながっているそうです。モグラは生活空間を区別して住んでいるんですね。ちょっと意外でした。

このナガエノスギタケ、「食感がよく大変美味」と書いてあるネットの記事もありますが、モグラの巣との関係を知ってしまうと・・・ですね？

展望棟から ②

展望棟から北西の方向を見ると、すぐ近くに低いなだらかな山が横たわっています。5基の古墳がある丸塚山(54m)と岩倉山(53.5m)があります。丸塚山は道なき道を登って行くようですが、右の岩倉山は登山道がよく整備されています。登ってみると、頂上から少し下った所にある展望の良い広場から、黄砂でかすむきらら浜自然観察公園と山口湾が見えました。



左端は日の山、中央は丸塚山、その右が岩倉山



観察展望棟

東西南北、ぐると見渡せます



岩倉山から見る公園と山口湾

その向こうは秋穂二島です

みんなのひろば😊

葦の会で「マイプロジェクト」アクション！

私は小さい頃から生き物が好きで、よくきらら浜自然観察公園にも訪ねており、小学生のときには子供レンジャークラブに所属していました。高校生になり、自分の身の回りの課題を見つけ、それを解決するためのアクションを起こす「マイプロジェクト」という探求課題に取り組まなくてはならなくなり、どんなアクションを起こそうか考えていました。そのときにふと、小さい頃から通っているこの公園でなにか出来ないかと考え、葦の会に入ってアクションを起こそうと決めました。

同世代の若者にも野鳥に興味を持ってほしいと思い、友達と協力して野鳥カードケースを制作して、先月行われた公園の春まつりで販売しました。有り難いことに、多くの方に手に取っていただき 100 枚を完売することができました。

今後は学校の文化祭でも販売しようと考えています。推し活にも使える素敵なカードケースなので、もっと沢山の人の手に取っていただき野鳥のことも知ってもらいたいです。



(K・T)

皆様のご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

活動紹介



= またまた雨の春まつり =



毎年4月29日は雨、と決まっているのでしょうか!?
今年の春まつりも、「天気予報、はずれて〜!」の祈りむなしく「また雨〜!?」と嘆いていたら、朝から傘をさした来園者が続々と!!。企画した公園も、バザーでヘルプの葦の会も嬉しい悲鳴をあげました。

残ってしまうかと心配したぜんざいも早々に売り切れ、この春葦の会に入っただけの高校生会員は、野鳥の絵を入れたファンシーな手作りカードケースを完売しました（「みんなのひろば」参照）。雨の中を元気に自然観察に出かけていくグループ、また館内ではゲームやハチミツしぼり、コンサートなどを楽しむたくさんさんの家族連れで賑わいました。



= 仲間が増えました! =

<俳句教室 最多選句>

3月20日（水・祝）開催されたボランティア説明会は5名の参加者を迎え、午前10時よりスタートしました。従来は終日スケジュールが組まれていましたが、長すぎるとの声もあり、今回は実験的に午前中のみで行われました。

女子高校生を含む5名の参加者は、Tレンジャーの司会進行のもと、阿知須干拓の跡地に開設された公園の成り立ちについて、スライドを見ながら園長から話を聞きました。この後、参加者全員より葦の会への入会希望をいただきました。

5名の方々は皆、目標をもってこの場へ参加されており、同席したメンバーは背筋が伸びる思いでした。今後の会の運営にも大きな力となってくれると期待しています。

= 葦の会総会 =

第21回葦の会総会が4月14日（日）午後1時より開催されました。5名が入会されましたが、長年、会を引っ張って下さった一期生を含め、退会される方が若干名ありました。それでも出席者数は22人となり、全ての事項は無事承認されました。

葦の会は発足より22年目の歩みが始まりました。これまで同様、きらら浜自然観察公園で自然への関心と理解を深めながら、皆で楽しく活動していきたいと思います。

・ 卵塊を離れず蝌蚪の育ちをり

清子

3月

・ 虎杖を噛むや大地の味したる

孝雄

4月

<編集後記>

記事探しの園内散策は今が一番よい季節。ツバメの飛ぶさまは5月に似合います。昨今の異常気象を憂いながらも、園内の動植物に季節の訪れを感じさせてもらっています。昨年同様の酷暑が予想される夏が来る前のひとときを、皆様もぜひ公園でお過ごしください。野鳥写真展も開催されています！（5/12～6/9）
(Tasha)